

# 革新的ハイパフォーマンス コンピューティングインフラ(HPCI) の取組について (追加報告)

科学技術・学術審議会 先端研究基盤部会  
研究開発プラットフォーム委員会

平成26年4月14日

登録施設利用促進機関  
一般財団法人 高度情報科学技術研究機構(RIST)

# 資料の構成

1. スーパーコンピュータ「京」を中核とするHPCIの産業利用  
についてのご案内

( [https://www.hpci-office.jp/materials/sangyo\\_jp\\_pp.pdf](https://www.hpci-office.jp/materials/sangyo_jp_pp.pdf) )

2. 「京」を中核とするHPCI利用研究課題 成果事例集I

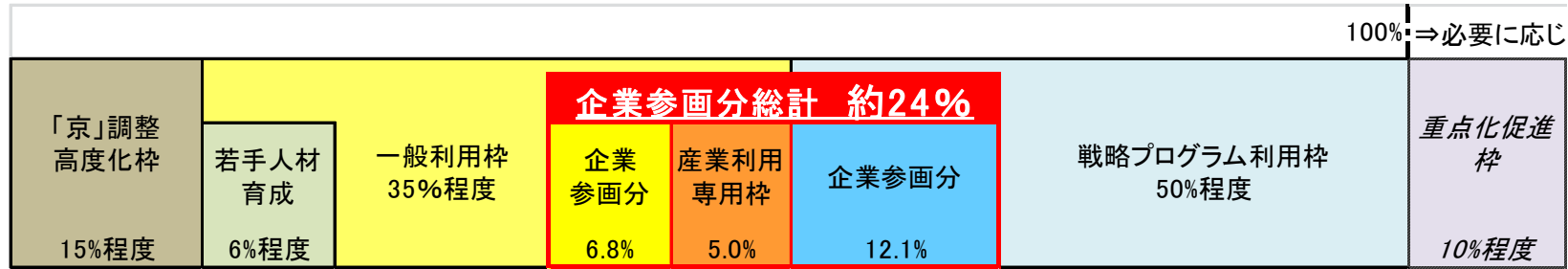
( [https://www.hpci-office.jp/materials/k\\_jirei\\_seuja\\_pdf01.pdf](https://www.hpci-office.jp/materials/k_jirei_seuja_pdf01.pdf) )

3. 参考資料 ～「京」の成果事例～

# 「京」の産業利用の状況について

## 産業利用の状況

○「京」を利用する総計算資源量の約24%が企業参画課題(平成25年度配分実績ベース)



画期的な成果創出を目指し、以下5分野について国が重点的に課題を選定  
1: 医療・創薬、2: 物質材料、3: 防災・減災、  
4: 次世代ものづくり、5: 物質と宇宙の起源

○「京」の全利用者の約3割が企業の利用者(1431人中410人)

○全課題における参画企業数は総勢100企業以上

○産業利用課題の高い課題採択率(一般利用28.9%に対し産業利用は83.3%(平成26年度実施課題))

## 産業利用促進策

(継続的な取組)

- ・企業の成果の機密性や情報管理に配慮した成果非公開課題の設定
- ・企業の利用者に対する手厚い応募前相談や技術支援

(平成26年度からの新規取組)

- ・産業利用専用枠の拡大
- ・企業が応募しやすくなるよう、随時応募可能な利用枠を新規に導入
- ・「京」を一定期間、予約的に利用できる制度を導入(その期間は待ち時間なしで利用可)

# 産業界に対する広報活動

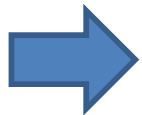
## □ 産業界向けの広報活動

- ① セミナー・出展: OpenFOAMワークショップ、CAE懇話会、HPC産業利用オータムスクール、国際ナノテクノロジー総合展・技術会議への出展等
- ② 外部機関との連携: 大阪商工会議所や関西経済連合会とのセミナー共催、スーパーコンピューティング技術産業応用協議会や日本自動車工業会、バイオグリッド関西(製薬企業コンソーシアム)等との連携協力
- ③ 講習会: HPC入門・初級者向け講習会開催 (延べ24回・459名(うち産業界参加者153名))
- ④ HPCIの産業利用に関するパンフレットを作成、1500部を配布

□ 神戸と品川(東京アクセスポイント:産業利用拠点)で、手厚い[応募前相談実施\(約90件\)](#)

□ 産業界向けスパコン利用[個別相談会を開催](#) 第1回:3社(8名)、第2回:2社(3名)

□ プログラムの[高度化支援: 15社を支援](#)



- 課題応募数は、平成24年度件数比 1.6倍に増加。
- トライアル・ユース課題は、1年半で28課題実施。
- 産業有償利用(成果非公開)の随時募集を平成26年3月から開始し、3月末までに2件の申請があり、採択された。